

地域福祉実践あれこれ

先進地の取り組みから学ぶ

筑北村の地域福祉を推進するために、他市町村の取り組みを知ることが、大変有意義なことです。今年に入ってからも内外の学習会等を通して、先進地の事例を知ることができましたので、幾つかご紹介します。

諏訪郡原村で今春スタートに向けて準備中の支え合いサービ
スです。原村の住民で作る準備委員会
が中心になって
います。先進地
への視察や学習
会などを重ねて
いるということ
ですが、この代
表を務めている
方の言葉が印象
的でした。「今
は独身だが、こ
の先結婚して子
供ができて、仕
事が忙しくなっ
たら、誰かに助
けてもらえら
るのか？そのと

ねこの手サービ

(諏訪郡原村)

きのために今このしくみを作り、今は誰かを助けたい」と。

この準備委員会には、いわゆるIターンで原村に住みついた方もいて、新しい原村の魅力を見出す一助になっているとのこと。

地域ささえ隊

(木曾郡大桑村)

木曾郡大桑村の「地域ささえ隊」は、住民主体の支え合いサービスです。

お互いさまの精神に基づき、日常生活上の「ちよつと困った」を会員相互に支え合うしくみです。時間ごとに単価を決め、利用会員は相応のチケットを事前に購入、サービスを受けたときにチケットを協力会員に渡します。原則的には一時間単位のチケットですが、短時間の場合などは、お互いに話

つながるう日本ー震災義援金まだまだ受付中(社協各支所窓口にて)



平成24年3月16日
そよかぜ委員会事務局
筑北村社会福祉協議会
電話：66-2506
www.chikuhoku-shakyo.or.jp

し合い、数回分を一回としてチケットを渡すこともあるそうです。

商工会セミナー

(筑北・麻績)

筑北・麻績両村の商工会が主催するセミナーが開かれ、「まちとひと 感動のデザイン研究所」代表の藤田とし子氏の講演をお聴きしました。

まちの活性化とは何か？それは一過性のブームやイベントで人が集まることではなく、その土地らしさを自ら発信し、何度でも来てもらえるようなまちを作ること。それを実践する住民の意識の醸成が必要です。

サロン大集合

(長野市中条)

長野市中条地区(旧上水内郡中条村)の地区住民自治協議会社会福祉部会による社会福祉大会が開かれ、これに先立つ「いきいきサロン大集合」には、地区内20ヶ所で住民主体に行われているサロンの参加者など126名が集まりました。

この日は、長野市内の小学校教

諭で落語家の中村雅則氏(高座では快樂亭狂志を名乗る)の落語で楽しみ、和気あいあいとお昼をいただきながら交流されていました。

各サロンは自主的に開催されており、必要なときに公的機関等の協力を得ているとのこと、大集合」の企画・進行もサロンの代表者でつくる役員さんたちで行い、社会福祉部会の方はサポートにまわっていました。

情けは人の為ならず

先進地の事例や有識者のお話などを聞きしていると、地域福祉の向上は「住民の主体性」と「やる気」をいかに出すかにかかっていると云えます。

地域福祉は住民一人ひとりが主役になってこそもの。昔からの言い伝えにある「情けは人の為ならず」とは、まさに本質を謳ったものなのではないでしょうか。

社協は、この考えを基本に来年度以降も強力に地域福祉を推進していきます。みなさまのご協力をお願いします。